



竹村 仁司 議員

SNSの導入で市民参加を

各課もしくは各部にツイッターアカウントをとることで情報発信が可能か。

質問

ことにより、市民にソーシャルネットワーキングサービスを

地域自殺対策緊急強化事業補助金を使っての「こころの体温計」導入により、これを一つのステップとして、多くの市民の方の参加型ネット

質問

「市長の部屋」ということで、これも今後の導入に向けての一つの検討課題ではないかと現時点では捉えている。

総務部長

知ってもらい、利用できるきっかけとし、将来的に住民サービスの効率化につなげていくことが大切と思うが。

ワークの構築につなげる必要があると思うが。

市民生活部長

「こころの体温計」を導入することにより、インターネットや携帯電話の利用頻度の高い世代に対する啓発活動とし

では有効な手段である。

診断結果が表示されるページには、市の相談窓口の連絡先などが紹介できる。病状の早期発見、早期治療につながるさらなる自殺予防対策の充実が図られることを期待する。

環境基本計画とまちづくりは

な考えを持っているのか。

質問

市の総合計画基本施策「快適」をさらに展開したものが環境基本計画と理解する。総合計画との整合性は。

経済建設部長

生活環境に問題が少ない高度先端産業が進出しやすいように考えている。

質問

TPPが導入された場合、市の農業をどのように守っていくのか。

市長

農業政策では、若い農業経営者との交流も、市の農業をどのようにしていくか、一緒に考えていきたい。

企画部長

市の総合計画と環境基本計画の整合性については、生活環境分野として、ごみの分別の徹底と収集体制を整備する。自然と共生し、住みやすい環境をつくる。2つの基本施策を定めている。

質問

環境基本計画に準じた企業誘致を考える上で、どのよう

総務部長

各担当部署統一のルールとマナー、一律のガイドラインというものが必要である。いずれにしても、この問題について、将来的に必要であるという捉え方をしている。しばらく検討していきたい。

質問

ホームページ「市長の部屋」にフェイスブックを設置する

こころの体温計（本人モード）

ストレス度・落ち込み度が分かります。ご本人の健康状態や人間関係、住環境などのストレス度や落ち込み度が、水槽の中で泳ぐ金魚などの絵になって表示されます。

